第36回奈良県社会教育研究大会及び第72回奈良県公民館大会合同大会
開　催　要　項

1　趣　　旨

奈良県内の社会教育委員・公民館関係者をはじめ、社会教育関係者が一堂に会し、各市町村・地域における社会教育活動の実践や研究成果を持ち寄り、交流を深め、今後の社会教育・公民館活動の振興を図るとともに、時代の変化や社会のニーズに応じた生涯学習・社会教育のあり方について研究する機会とする。

2　主　　催

奈良県社会教育委員連絡協議会
奈良県公民館連絡協議会

3　後　　援（予定）

奈良県教育委員会、奈良県市長会　奈良県町村会　奈良県都市教育長協議会　奈良県町村教育長会
奈良県人権教育推進協議会　奈良県高等学校ＰＴＡ協議会　奈良県ＰＴＡ協議会

4　日　　時

令和７年10月３日（金）13:00～16:20

5　会　　場

奈良県立教育研究所　磯城郡田原本町秦庄22-１　　℡：0744-33-8905

※会場には十分な駐車スペースがありません。可能な限り公共交通機関を御利用いただくか、車を乗り合わせて来場してください。

※バス（マイクロバスを含む）の駐車スペースはございません。

6　日　　程

12:30～13:00　受付
13:00～13:30　開会行事
13:30～14:30　全体会　《会場》大講座室
　　基調講演
14:50～16:15　分科会　《会場》中講座室１・中講座室２・中講座室３
　　問題提起・質疑応答・グループ協議・全体共有・助言
16:15～16:20　閉会行事（各分科会ごと）

7　開 催 内 容

①　基調講演「『よきこと』をつなぐ、『よき存在』になる
　　-『ふるさと』をつくる社会教育-」

講　師　大正大学　地域創生学部　地域創生学科　教授　牧野　篤　氏

【プロフィール】

1960年、愛知県生まれ。名古屋大学大学院教育学研究科博士課程（教育学）修了。

名古屋大学大学院教育発達科学研究科助教授、教授を経て平成20年から東京大学大学院教育学研究科教授。令和７年3月に定年退職の後、4月より大正大学地域創生学部地域創成学科教授。

専門領域は社会教育・生涯学習論。日本のまちづくりや高齢化と過疎化問題に関心をもち、地方公共団体と共同で公民館や生涯学習の調査で行ったり、企業と共に「ものづくりの社会化」プログラムの運営に関わったりするなどの取組を行っている。

② 分 科 会

【第１分科会】

テ　ー　マ	橿原市子ども教室の取組
討議のポイント	・子どもの居場所づくり、ひいては地域づくりにどのようにしたら参加してもらえるか。
問 題 提 起 者	【橿原市】　橿原市教育委員会事務局生涯学習課　西村　有加　氏

【第２分科会】

テ　ー　マ	子どもにとっての「公民館」から考える公民館の今日とこれから
討議のポイント	・吉野町において65年間、青少年図書室の運営など公益活動を継続する公益財団法人阪本龍門文庫は、現在吉野町中央公民館１階に「りゅうもんぶんこ　こどもライブラリー」を開き、一冊の本をひとりでも多くの子どもたちに手渡すことを目的として活動している。文庫を訪れる子どもたちやその保護者の姿から、子どもにとっての「公民館」を見つめつつ、「公民館の今日とこれから」を一緒に考えてみたい。
問 題 提 起 者	【吉野町】　公益財団法人阪本龍門文庫 （吉野町社会教育委員）　坂口　千代美　氏

【第３分科会】

テ　ー　マ	誰もが笑顔になれる居場所づくりをめざして
討議のポイント	・住み慣れた地域で、生きがいをもった生活を送るためにできることとは。 ・誰もが関心をもってもらえるような居場所づくりを展開するには。
問 題 提 起 者	【天川村】　天川村教育委員会事務局　梅山　敦子　氏

８　参加対象

市町村の教育委員、社会教育委員、公民館運営審議会委員、公民館（隣保館）等職員、教育委員会事務局職員、社会教育関係者、公民館利用者、ＰＴＡ関係者、学校関係者等

９　参 加 費

無　料

１０　申込方法

各市町村教育委員会事務局へお問い合わせください。